

2020 年度 リーグ代替試合 一般注意事項

(試合形式)

- ・男子・女子1部から4部は各6校により総当たりリーグ戦を行う。
(エントリー状況次第で形式を変更する場合がある)
- ・5部リーグもブロックごとの総当たりリーグ戦。
- ・出場選手は関西学生テニス連盟登録選手かつ単年数・在学年数が共に4年以内の者
- ・試合ポイント数は男子9(単6・複3)女子5(単3・複2)とする。
- ・試合は同一時間に開始する試合に関しては原則オーダー順位の低い試合から行う。また、複数コートに同時に試合が入る場合は、オーダー順位の高い試合からコートに分か板に割り振ること
- ・試合の打ち切りを認める。

(試合上の注意事項)

- ・試合前上のルールは『J T A TENNIS RULE BOOK2020』に準ずるものとする
- ・試合前のプラクティスは5分以内とする。また、公式の練習時間以外での試合当日のボールを使ったアップは認めない。
- ・ボールチェンジは一部のみ9-11-11、2部以下についてはファイナルチェンジとする。
- ・審判に対する意義申し立てはプレーヤー、またはベンチコーチに限り認められる。(但し、学連による会場運営が行われていない場合は質疑権所有者も審判に対して異議申し立てをすることができる)
- ・すべての試合開始時刻は時報の基準として行う。
- ・シングルス、ダブルス間の休憩は『J T A TENNIS RULE BOOK2020』に準ずる。
- ・審判はすべてSCUで行う。
- ・民間のコートを使用する場合は周りのコート使用者に迷惑がかからないこと、施設管理者から関西大学対抗テニスリーグ戦を行うこと・応援を行うことについての許可を得た場合のみ認める。また、トラブル等があった場合には学連では対応は行わない。

(服装)

- ・原則『J T A TENNIS RULE BOOK2020』に準ずるものとする。最終的な着用の可否は大会レフェリーが判断を行う。
- ・オーダー交換時はゲームウェアまたはウォームアップスーツを着用しなければならない。
- ・試合前のプラクティス及び試合時の服装はゲームウェアとする。(プラクティスの際はウ

ウォームアップスーツの着用は可)

※違反した場合は直ちに服装を正すこと

(オーダー交換)

① オーダー用紙に関する注意

- ・学連指定のオーダー用紙に従って、組・選手名を記入。ダブルスについてもフルネームで記入すること。
- ・オーダー用紙・封筒には必ず部印を押すこと。
- ・オーダー用紙の訂正箇所にはチームの代表者の印を押すこと。
- ・オーダー交換成立後の変更は一切認めない。

② オーダー交換時の注意

- ・チームの代表者及び出場選手は必ずオーダー交換に出席すること。
- ・チームの代表者と出場選手（シングルスかダブルスのどちらか、または両方）はサービスラインに整列し、その他の部員はベースラインに整列する。
- ・規定の団体戦本数に対して、選手数が不足している場合は、必ずオーダー順位の上位から選手を割り振ること
- ・シングルのオーダー交換はダブルスの試合が全試合終了後、すぐに行うこと。
※2部～5部リーグに関してもオーダー交換は単複別で行う

③ オーダー順位

- ・関西学生リーグ用ポイントランキングを参照すること。（夏関本戦終了後にホームページに掲載）このポイントランキングは春関、チャレンジ、インカレ、夏関も結果をもとに作成する。
- ・オーダー順位に関しては、シングルスはランキング上位から S1、S2…とオーダー順位の高いものを割り振ること。
- ・ランキングが同順位の場合、選手の入れ替えは自由とする。
- ・ダブルスのポイント保持者と非ポイント保持者がペアを組む場合、非ポイント保持者のランキングは 1000 位として計算する。

- ・オーダー交換時はゲームシャツまたはウォームアップスーツを着用しなければならない。
- ・試合前のプラクティス及び試合時はゲームウェアとする。

※違反した場合は直ちに服装を正す、あるいは正しい服装に交換すること

④ オーダー用紙に関する注意

- ・オーダー交換時にオーダー用紙がない場合は全試合1ゲームとトス権を失う。
※1部リーグと入れ替え戦では学連用を含め、オーダー用紙を二枚用意すること。
二枚ない場合は上記のペナルティを適用する。
- ・オーダー交換時に試合に出場する選手がサーブラインに整列していない場合、該当選手は1ゲームとトス権を失う。
- ・チームの代表者がサーブラインに整列していない場合は全試合没収とする。
※チームの代表者を主将以外の選手が務める場合、学連にオーダー交換時まで連絡すること。連絡がない場合は代表者なしとみなす。
- ・オーダー交換時に試合に出場する選手全員/チーム代表者が不在の場合は全試合没収とする。
- ・オーダー順位に誤りがあった場合はオーダー順位を訂正し、その際に移動した選手・組の試合を没収とする。
※オーダー順位に対する異議申し出は全試合終了時まで有効。

(ベンチコーチ)

① 注意事項

- ・部員（出場資格有する者、男女を問わない）、監督、部長等は自チームのベンチコーチとして、エンドチェンジ時（1ゲーム目終了時とタイブレークを除く）及びセットブレーク時に、自分がベンチコーチを担当する選手に対してアドバイスをすることができる。
- ・部員、監督、部長以外をベンチコーチに入れる場合は、登録が必要。
- ・選手のトイレットブレークについていく以外でベンチコーチがコートの外に出た場合は、再びコートに入ることはできない。
- ・試合の始まりからベンチコーチがいなかった場合のみエンドチェンジ、セットブレーク時に試合途中からベンチコーチを入れることができる。

② ベンチコーチに対するコードバイオレーション

- ・1回目…注意、2回目…警告、3回目…退場、4回目…全試合退場
※1対戦累計でカウントする

③ ベンチコーチに対するコードバイオレーションが課される場合

- ・エンドチェンジ間（1ゲーム目終了時とタイブレーク時を除く）とセットブレーク時以外で選手にコーチングをする。
- ・試合中に学連（学連がいない試合では質疑権所有者）、審判以外と話す、あるいは接触する。

- ・インプレー中にベンチから立ち上がる
- ・パラソルが設置されている試合で、エンドチェンジ間（1ゲーム目終了時とタイブレーク時を除く）とセットブレーク時以外にパラソルを開く。

（応援）

① 応援に関するコードバイオレーション

- 1回目…注意、2回目…警告、3回目…応援拍手のみ、4回目…退場
- ※1対戦累計でカウントする

② ベンチコーチに対するコードバイオレーション

- ・プレーが始まってからも応援を止めない。またはインプレー中に応援する。
- ・隣のコートがインプレー中、または1ゲーム目終了時とタイブレークのエンドチェンジの際に連呼を行う。
- ・社会通念上、不適切と考えられる応援
- ・応援の選手と接触した場合（学連がいない場合で質疑権所有者が接触するのは可）
- ・コーチングとみなされるような応援・仕草など
- ・ボーラー、主審が試合中に応援に参加した場合

（質疑権所有者）

① 質疑権所有者の定義

質疑権所有者…大学を代表して学連に質疑する権利を有する。

② 質疑権所有者の役割

学連が会場で運営を行っている場合（1部リーグ、入れ替え戦）

- ・試合に関するルール上の質疑

学連による会場運営が行われていない場合

- ・試合中の法的問題に対する処置（事実問題に関しては審判が対処）
- ・選手への物資の救援
- ・必要があれば、ベンチコーチ・応援のコード違反に対してペナルティを課す。

③ 注意事項

- ・1大学につき男女各2名まで
- ・質疑権所有者が対処できない問題が起きたときは、学連担当者まで電話で質疑すること。

- ・相手校のベンチコーチや応援に対してコードバイオレーションを取る際は、必ず学連に電話で連絡すること。

(エントリーに関して)

- ・エントリーの際に、自校のコートが使えない場合、民間のコートを使い代替試合を行うことができるかを記載してください。もし自校のコートが使えない、民間のコートが使えない場合は参加を見送ってもらうことになります。
- ・試合球は学連から各大学へ送ります。